

たんぽぽ通信 No.129

発行日：2007年2月22日

発行者：たんぽぽ共同作業所

施設長 藤田 安

住 所：磐田市福田中島 138

TEL：0538-58-1541

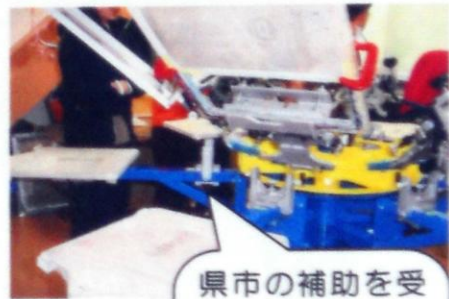
E-mail：tanpopo-kyodo@ny.tokai.or.jp

黄色とピンク
のフリージア
(masa
さんより)

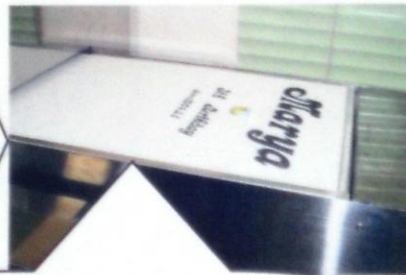


元気な施設見学会 (1/25) げんきむら工房は元気だった！

げんきむらプリント工房は平成8年、心に病を持つ仲間3名と指導者1名がプリントTシャツ製作を始め、平成15年に県費補助施設・精神障害者共同作業所として認められた。平成18年9月に新しい工房を新築。今後は雇用型就労継続支援施設を目指している。この元気の源はなんだろうと利用者や家族と共に見学に行った。



県市の補助を受けて手動6色刷り印刷機を購入。位置合わせ作業が楽になった。



インクジェットダイレクトプリンタは独立行政法人福祉医療機構の助成で購入。パソコンのデータを直接Tシャツにプリントすることができる。



ナイロン、ポリエステルなどの化繊へのプリントもできるようになった。

- 設備機械が多く圧巻だった。(Nori)
- 新品の機械ばっかでいいとゆうのか、こまかい仕事がけっこうあると思った。あのくらいのことができるかは自信がない。(mine)
- げんき村の仕事をたんぽぽでもやってほしい！(masumi)
- 機械作業、細かい根気のいる作業。「元気村の歌」もまさに元気あり。一生懸命さが伝わってきた。(toshi)
- 仕事をしている姿を見て自分もやればできるかもと、元気村の元気を分けていただいた感じがしました。(nao)

元気な施設見学会(1/25)

ドレミ金谷作業所

なぜ保健センターへ移転できたの？

施設長さんから伺った話。「栄町にあったドレミ金谷作業所の床が抜けた。市町村合併により、島田市金谷支所の建物が空いたので、ドレミ金谷作業所と希望の家作業所が移転することができた。今までと違って、電気をつけなくても明るい部屋、舗装された駐車場に感激の毎日！家賃や光熱費、下水道代などの支出がなくなったので、助かっています。」とのこと。行政と協力関係を築き上げるには、並々ならぬ努力があったと察します。

金谷ならではの製品は茶の実人形。他にアクセサリーやアクリルたわし、クッキーなどをお茶の里等で販売。

市の広報誌の配布は自治会に委託されているが、近隣の自治会からドレミに依頼があったので代わりに配布している。市からの委託金は大きな収入源。



熱が入った！ペタボード大会

(2/8、アミューズ豊田にて)



- 集中力が足りません。(taka)
- 予選を2位で突破して、決勝リーグに行ったが、惜しくも3位だったので、残念だった。もう少しというところで粘りが足りなかった。(hide)
- おもしろかった。おしかった。2勝1敗だった。2次リーグでも2勝1敗だったが、得失点差で3位だった。(nori)
- 勝負事のようにいろいろ。勝った。敗れた。1日中、カッカ、チンチンだった。熱が入った。(masa)
- キンチョーしました。2次リーグに行けてよかったです。(nao)
- 恥をかくというのは、こんなみじめである。おこりきれん!!! (mine)
- 練習不足の割にはたんぼぼチームはよく健闘したと思う。欲を言えば、2次リーグで慎重さに欠けたかも？ (toshi)